

令和6年度 第5回地域防災指導員連絡会（視察研修）について（報告）

◆実施日 令和7年2月15日（土）

◆視察先 浜岡原子力館・浜岡原子力発電所【中部電力㈱】
（御前崎市佐倉5562・0537-86-3481）

◆参加者 地域防災指導員連絡会委員 3名
地域防災指導員エキスパート 1名
藤枝女性ネットワーク 2名
職員 3名 合計9名

◆内容など

初めに、浜岡原子力館で日本のエネルギー事情や浜岡原子力発電所の概要、福島第一原子力発電所の事故の概要、浜岡原子力発電所の安全対策（防波壁や原子炉建屋に設置されている水密扉、取水槽から敷地内への海水流入を防ぐ壁、電源車やガスタービン発電機等）などの説明を受けました。

その後、厳重に管理されている浜岡原子力発電所敷地内に入り、安全対策等を実際に見学しました。

原子炉建屋（5号機）内では、中央制御室や燃料プールなどを見学。浜岡発電所では東日本大震災後に停止し、10年以上稼働していないため、原子力発電所の運転員は原子炉模擬機を使用した研修を実施し、知識や技術の向上に努めているとのことでした。

また、いざという時に備え、重機・大型車（ポンプ車や電源車）を所有しており、敷地内2箇所に分けて研修場を兼ねた場所に保管し、社員に重機等の免許を取得させ、社員が運転・操縦できるようにするとともに、浜岡原子力発電所内で災害対応が完結できるような対策も実施しているとのことでした。併せて、全ての対策要員を対象に年2回の総合訓練、総合訓練を実施するための訓練を20回実施。個別や班別訓練など大小含めて年間約300回訓練を実施し、対応力や個人のスキルアップを図っていると説明を受けました。

今回は浜岡原子力発電所の安全対策がメインとなりましたが、テレビ等で報道されていない安全対策などについて、実施に見ることができ有意義な視察研修になったと感じています。

